

## 桜便り

各地から届き始めた桜便りに急かされて、おととい近所の公園に散歩に出ました。東京の開花宣言に先んじて1輪、2輪……。控えめな花びらが見えます。「三日見ぬ間の桜」と言うように、咲き始めてからは俊足です。一週間もすると、あたりは笑顔と歓声で満ちるのだろう。

ソメイヨシノは冬が厳しいほど春の訪れに敏感に反応する。札幌と奄美大島で冬を越した枝を同じ温度に置くと、北国育ちの方がいち早く咲くそうです。夏にできたつぼみは秋になって硬い芽に覆われる。気温が下がるとその中で特定の物質が分解され、開花の準備を始めるのだという。

桜の時期に合わせるかのように、まん延防止等重点措置が解除されました。居酒屋の営業時間が延びるのは、店で働く人だけでなく、飲兵衛さんにも朗報か。入場制限を緩和した遊園地にはにぎわいが戻るかもしれない。だが、新規感染者数は今も万単位。次の流行も懸念されます。治療薬が行き届いたという話も耳にしない。経済や暮らしを立て直しつつ、ウイルスに対する守りを怠らない。そんな不自由な日常がこれからも続くであろう。

コロナ禍で巡ってきた3度目の春。今年も花見宴会の自粛を求めたり、関連イベントの中止を決めたりした地域が多いと聞きます。今しばらくは、つぼみの中で、しっかり目覚めの準備を続けることにしましょう。

鎌野



## 怪物

ウクライナへのロシアの侵攻、戦争の勃発は本当に恐ろしいことだ。第三次世界大戦や核による戦争も、現実味を帯びてきている。プーチン大統領のウクライナへの執着心は私には、良く分からないが、彼のように富や名誉を総て手に入れて、権力を欲しいまま手にしている人にとって、自分の思うようにならないことがあるということが、許せないであろう。

独裁者は、最終的には自分が神になった様に思ってしまうものだ。そういう人を説得したり止めたりすることは非常に難しい。だがその人が核ミサイルの発射ボタンを持っているという事実が、最も恐ろしいことだ。彼が、自分が死んだ後の世界のことなんてどうでもいいと考えれば、本当にボタンを押すのかも知れない。人間というもののはやはり恐ろしい生き物である。

戦争をしている横の国で、平和の祭典パラリンピックが開催されていた。東京オリンピックの時はコロナの感染拡大中だった。色々と考えさせられたが、アスリートの方に罪はないが正直、オリンピックもパラリンピックも、興味が失せた。「この世界で何ができるのか？僕には何ができるのか？」yoasobiの「怪物」という歌の歌詞に出てくる。くしくもプーチンという「怪物」に、地球が呑み込まれそうな昨今である。

英樹



## 配り

第  
274  
便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室  
TEL (0550) 87-0048  
FAX (0550) 87-1237  
〒412-0035 静岡県市中山518番地

鏡見て口角上げる我の背に  
花びら一枚ひらりと止まる  
ねがみともみ



コロナ禍の音楽祭に誘われて  
久しぶりに心癒さる  
林なをみ



独裁者の野望潰ひよと念じたる  
祈りよ届け東欧の地に  
勝亦りつ子



## 沼

〇〇沼って言葉をご存じですか。何か趣味にのめり込み過ぎて這い出せない状態を言います。底なし沼に落ちてしまう様な、一度足を踏み入れたら抜け出せない状況です。特に物品購入の際に使われることが多いです。ゴルフクラブ沼とかキャンプ沼とか。

沼にも色々ありますが、私もハマっているのです。そうレンズ沼に。私が使っているカメラは一眼レフカメラと言います。カメラ本体に交換可能なレンズを取り付けて使います。写真はそのレンズの性能、性格（画角）によって大きく変わります。通常、私たちが自分の眼で観ているような感じで撮れる標準レンズ。広い範囲を大きく写す広角レンズ、遠くのモノを近づけて撮れる望遠レンズ、小さなものを拡大できるマクロレンズなどなど。写真の出来はレンズによるところが大きいのです。レンズは多種多様で金額も様々。中古品も多く流通しており懐の寂しいアタクシは中古品のお世話になることが多い、いや、ほぼ中古品なのです。先日オリンピック観戦用に購入した望遠レンズの調子が悪くなってしまった。見積りに出すとおよそ私の一か月分のお小遣が飛んでいく値段。購入時の価格はそれプラス2万円ほどだったかな？

まあ悩みますよね、果たして中古品にそこまでお金を掛けるべきか。とりあえず修理は保留。しかし望遠レンズでしか撮れないものがある。冬鳥が居て樹木に葉が無い今はバードウォッチングの季節ですし、望遠レンズでしか表現できない世界があるのだ！などと自己正当化甚だしく、いっばしのゲージツ家気取りの勢いで修理発注！

ああ。これがレンズ沼というヤツなんだなあ、と少しの後悔と暫く清貧に耐える決意を胸に湛えたのであった。

柳田 敏和



## 桜の季節



沿道の桜の木々がほんのり薄赤なくなってきました。中には一輪花が咲いているのが見えます。個人的には桜は満開ではなく、冬の寒さに耐えて、蕾を付けて花が咲く準備をしている段階と、盛りを過ぎて、葉桜になる前、風に吹かれてひらひらと舞う様子をみるのが好きです。花筏があればグットです。上を見上げれば、すこし霞がかつた、いや、花粉が飛散して・・・それでも空は青く、気持ち前向きになる季節です。

その空の下、ウクライナでは戦時下にあります。同じ空の下です。現在21世紀、2022年です。戦争ですから、情報戦もあるので本当のところはわからないところが沢山あるでしょうが、ロシアもウクライナも人が戦闘によって殺されていることは確かです。平和ボケの日本のただの一般人で、のほほんと生きている人間の、個人的な考えですが、この戦争は、中国のパラリンピック開会式の前にはかたがついていた。と考えていたのではないのでしょうか。長期戦となり、プーチンさん、もう、後に引けません。勝つまでやらないと戦争犯罪者です。中国は斜にかまえて世界の動向をみながら、武器を作っても試すときがないので、渡して試してみ？みたいな。あくまでものほほんと生きている人間の想像です。核戦争となれば第3次世界大戦になりかねません。

誰がプーチンさんを止めることができるのでしょうか。ロシアの国民でしょうか？  
同じ青い空の下、避難する人達や戦時下のなか、土に還される人に花が手向けられる映像をみているのは、戦争を体験していない私でも心が痛みます。

ねがみ

## 新年度

もうすぐ4月です。新年度が始まりますね。新しいスタートを迎える方も多いのではないのでしょうか。我が家にも1名、新社会人がおります。

先日、大学を卒業し3年間住んだアパートを引き払い帰ってきました。1年目は一人暮らしを心配し、寮に入れましたが、2年生からは一人暮らしをしたいと大学の近くに部屋を借りました。そのうち3年生の時にはコロナのため、1年間全てオンライン授業となり、御殿場にほぼ足止めされてしまい、実際住めたのは2年間でした。どんな生活をしていたか、寡黙な彼からは聞くことは出来ませんが、何でも一人で考えやらなければいけない生活は、彼の大きな成長の糧になったことでしょう。

連日心の痛む映像や、世界の様子が変わってしまいそうな予感で不安になりますが、春は新しいスタートをするには良い季節です。なにか、新しいことに挑戦したいですね。



祥子